

## 巻頭言

# 「脱プラスチック」を考える

関東グラビア協同組合  
理事長 吉原宗彦



5月18日の関東グラビア協同組合の総会にて理事長に就任致しました。田口薫前理事長におかれましては全国グラビア協同組合連合会の会長を兼務しつつ、長きに亘り関東グラビアの発展のためにご尽力いただきましたこと、誌面をお借りし深く感謝申し上げます。田口会長の「三方良し」の精神を引き継ぎ、組合員の皆様とともに関東グラビア並びに業界発展のために邁進して参ります故、皆様のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

今年のGW前の1週間ほど、関東のJR山手線、京浜東北線、都営地下鉄などに1車両内まるごと次のような広告が出ておりました。

「有料のレジ袋を買った。本当に痛んだのは、財布ではなく、地球環境であった。」

これは東京商工会議所が主催するeco検定（環境社会検定試験）が行った広告でありました。どういう意図で「レジ袋」が地球環境にとって、「痛む」⇒「悪」なのか、この検定試験の内容を確認しておらず定かではありませんが、地球温暖化、SDGs等、環境問題の話が出るに度に、日本では「脱レジ袋」「脱プラスチック」という言葉が躍り出ます。そもそも我々の生活には欠かすことができないプラスチックが、何故、「脱プラスチック」と言われてしまうのか。インターネット、書籍等で見ますと、「脱プラスチック」が必要な理由は、おおまかには皆さんご存じの下記の2つとなっています。

「海洋汚染」（一番多い）

プラゴミが海へ流出し、2050年にはプラゴミ総量が、魚の総量を超え、マイクロプラスチックにより海洋生態系へ影響し、更に魚を食べる人間の健康へ影響することの問題。

それとともに、このような写真が必ず掲載されている。



## 「地球温暖化」

製造する過程やゴミとして焼却される過程で、原油を原料とするプラスチックはCO<sub>2</sub>を大量に発生させ、地球温暖化の要因とされる問題。

一番指摘が多い海洋プラスチック問題を取り上げると必ずと言っていいほど、プラスチックは「悪」となり、「脱プラスチック」に辿りつきます。皆さんも指摘されているように、本問題でいうと「悪」はプラスチックでなく、プラスチックを捨てる人であります。

何故、プラスチックを捨てないような仕組み作りを提唱する人がいないのでしょうか。

本当にこの問題を考えるのならば、国内では、たばこのポイ捨てが地区により罰金のように、プラゴミポイ捨てを罰金などの厳罰化にし、海洋プラゴミ削減を行ってもいいのではないのでしょうか。

そして海洋汚染問題で使われる写真では必ずPET ボトル、レジ袋、プラ包材が映っていますが、環境関連調査を手掛けるピリカ（東京・渋谷）という会社が2020年に国内河川、港湾などで調査を行った結果、ゴミとなったプラスチック製品を質量比で見ると人工芝が25.3%、コーティング肥料16.2%、フィルム類10.4%、繊維10.2%だったそうです。主に運動場の人工芝、水田で使うコーティング肥料の海洋流出の方がプラゴミより多いのです。PET ボトル、レジ袋、プラ包材の海洋プラ問題を取り扱うメディアは多いのですが、何故か、人工芝、コーティング肥料の海洋ゴミ問題はほとんど取り扱われません。人工芝、コーティング肥料の流出防止のため、排水溝へ取り付ける専用フィルターは存在するらしいです。専用のフィルターの取り付けの義務化もとても有効ではないのでしょうか。「脱プラスチック」より、プラスチックが海洋ゴミとならないことを真剣に検討した方が良いのではないのでしょうか。

プラスチックによる地球温暖化問題ですが、プラスチックは原油を精製して得られるナフサ由来ですので製造・廃棄過程でCO<sub>2</sub>を排出するのは当たり前ですが、国内では原油総量から見たプラスチックの生産に使われる量はたった2.7%、石油化学基礎製品の生産に使われる量は7.6%、残り90%近くは自動車や発電所などでのエネルギーとして使われるものです（石油化学工業会2018年度版より）。

また、プラスチックは焼却時においてCO<sub>2</sub>を大量発生させていると指摘している方は多いです。廃プラスチックの単純焼却、およびサーマルリサイクル時の排出CO<sub>2</sub>量は2019年では年間1600万トンと数量だけでみると少なくないです。し

しかし、日本の総CO<sub>2</sub>排出量が同年11億794万トンですので、全体からすると1.5%弱です（発電などのエネルギー転換での排出量39.1%、運輸17.9% 資源エネルギー庁より）。これらより、目くじらをたてて、プラスチックが大量にCO<sub>2</sub>を排出して地球温暖化を導いているというほどのことでもないのは明らかです。

ちなみに各市町村での焼却時のCO<sub>2</sub>排出量算出において、プラスチック、合成繊維の排出量は算出していますが、紙類や生ごみ、木くずは燃やせば当然CO<sub>2</sub>は出しますが、カーボンニュートラルの考えより、CO<sub>2</sub>の排出量は算出しないそうです。（CO<sub>2</sub>ガスには色が付いていないので、地球にとってみると、プラスチックの排出CO<sub>2</sub>ガスも、木や紙の排出CO<sub>2</sub>ガスも、排出CO<sub>2</sub>ガスには変わらないような気がします…）

「レジ袋を買うと地球環境が痛む」という広告、前述の通り、国内では全原油よりプラスチックはわずか2.7%しか生産されず、廃棄量ベースで廃プラスチックのうち、レジ袋が占める割合は更にたった2%です。レジ袋を適切に使用した場合、地球が人としたら、痛みの度合いは、ささくれかそれ以下程度でしょう。プラスチックは化石燃料由来のもので地球環境負荷低減から使用を減らすことには異論ありません。「3R」を踏まえながら適切に製造・使用していくことは必要なことと思います。が、「脱」まで必要でしょうか。よくテレビ、SNS上で「脱プラスチック」を提唱する人がいますが、それを見るためのテレビ、パソコン、スマホも構成のほとんどがプラスチックでできていることをご存じなのでしょうか。

現在、全国グラビア協同組合連合会では、安永研二副理事長を中心にプラスチック包材を「ソフトパッケージ」と称し、イメージアップキャンペーンを実施しております。

『目立ってしまいますが、実力もすごいのです』をキャッチコピーにして、「●入れる ●届ける ●保つ ●伝える」と優れた機能を持ち、我々の生活に無くてはならない存在であることを行政、官庁や、食品メーカー等のより多くのクライアント、使用するより多くの消費者の方々までPRしていきたいと考えております。

そしてこのイメージアップキャンペーンが広く知れ渡った時、「脱プラスチック」という言葉が無くなっていることを願っております。

# GP JAPAN

全グラ情報



## CONTENTS

<b>巻頭言 「脱プラスチック」を考える</b> .....	1
関東グラビア協同組合 理事長 吉原宗彦	
<b>全グラコーナー</b> .....	6
全国グラビア協同組合連合会 第53回通常総会 田口体制、第8期スタート、「どうするグラビア」ではないのか	
<b>組合員・単組の近況</b>	
関東プラスチック印刷協同組合 第60回通常総会を開催 .....	12
埼玉県グラビア協同組合 第54回通常総会を開催 .....	14
東海グラビア印刷協同組合 第53期定期総会懇親会を開催 .....	16
九州グラビア協同組合青年部 第7回通常総会を開催 .....	18
北陸グラビア協同組合 第62回通常総会報告 .....	20
<b>GP 認定制度申請についてお願い</b> .....	21
<b>目立ってしまいますが、実力もすごいのです</b> .....	22
軟包装価値向上委員会	
<b>Data Watch 2023年3月データ</b> .....	24
紙・板紙／不織布／粘着テープ・シート類／プラスチックフィルム・シート／インキ／ ポリプロピレンフィルム／印刷加工機械／印刷機械輸出入／アルミ箔／ポリオレフィンフィルム	
<b>紙・プラスチック・ゴム製品統計月報に見る包装印刷</b> 2023年4月データ .....	30

今月の表紙

写真上より、関東プラスチック印刷協同組合、埼玉県グラビア協同組合、全国グラビア協同組合連合会、九州グラビア協同組合青年部の様子、写真下は東海グラビア印刷協同組合の懇親会の様子（詳細は本文6～20頁参照）



## WE LOVE GRAVURE

- GP 工場認定制度のご案内** ..... 34
- パニック購買する消費者の特性を明らかに** ..... 36  
購買経験が少ない人等が買い溜めしやすい傾向に  
明治学院大学
- 包装材料のマテリアルリサイクル生産プロセス実証試験を開始** ..... 39  
三菱ケミカルグループ・凸版印刷・共栄社化学
- STOP！熱中症 クールワークキャンペーン** ..... 40
- 令和5年度食品ロス削減推進表彰** ..... 42
- サイバー警察局便り** ..... 44
- 東ト協連 第38回「運賃動向調査」結果（最終回）受注形態・荷主に関して** ... 45  
荷主からは無償付帯サービス、過積載などの要請も、適正取引に向けた取り組みが求められる

## Information

DIC、廃棄軟包装フィルムを再資源化した原料が梱包用バンド・仮設資材に採用 ..... 17

GPJAPAN は全国グラビア協同組合連合会が発行する機関誌です。年間購読料は送料込みで15,000円＋税です。

購読および広告出稿を希望される方は、**全国グラビア協同組合連合会**  
e-mail: zenkoku-grv@utopia.ocn.ne.jp  
http://www.gcj.or.jp/  
までご連絡下さい。

本文ページの紙は、無塩素漂白パルプから作られたものを使用しています。

発行：2023年7月10日  
発行人：田口 薫（全国グラビア協同組合連合会会長）  
発行所：全国グラビア協同組合連合会  
〒130-0002 東京都墨田区業平1-21-9  
あさひ墨田ビル  
TEL.03-3623-4046、FAX.03-3622-1814  
編集スタッフ：袖山高明（全国グラビア協同組合連合会専務理事）  
村田英雄（全国グラビア協同組合連合会顧問）  
渡邊富美子、酒井由香（同事務局）  
編集協力：（株）加工技術研究会  
印刷：（株）遊文舎

© 全国グラビア協同組合連合会2023

落丁・乱丁はお取り替えます。GPJAPAN の無断複写・複製・転写・転機は、著作権法で認められているケースを除き、禁止されています。また、磁気・光磁気媒体等への記録することは禁止します。

全国グラビア協同組合連合会 第53回通常総会

## 田口体制、第8期スタート 「どうするグラビア」ではないのか

全国グラビア協同組合連合会は、2023年6月9日（金）午後1時より、ホテルニューオータニ（東京）「おり鶴 翔の間」において、第53回通常総会を開催した。当日は、8単組20名中、本人出席理事が田口 薫会長（関東グラビア協組、大日本パッケージ株）、安永研二副理事長（同、東包印刷株）、竹下晋司副理事長（関西グラビア協組、株ダイコー）、石井 純副理事長（関東プラスチック印刷協組、株多漣堂）、杉山真一郎副理事長（東海グラビア印刷協組、富士特殊紙業株）、母里圭太郎副理事長（九州グラビア協組、株平野屋物産）、若狭博徳副理事長（北海道グラビア印刷協組、株北海サンコー）、袖山高明専務理事、山下雅稔理事（関東グラビア協組、株巧芸社）、吉原宗彦理事（同、東京加工紙株）、東 勇一理事（関東プラスチック印刷協組、株トーショー）、市村清一理事（埼玉県グラビア協組、株ダイトー）、佐伯陽子理事（埼玉県グラビア協組、株佐伯紙工所）、大野寿之理事（北海道グラビア印刷協組、極東高分子株）、浮田信也理事（東海グラビア印刷協組、大和産業株）、奥田拓己理事（関西グラビア協組、株北四国グラビア印刷株）、賀谷真尚理事（北陸グラビア協組、賀谷セロファン株）の17名、委任状出席3名、合計20名の出席にて議事が進行した。

### 田口 薫会長の挨拶



皆様、ご多忙の中、ご参加賜り有り難うございます。現状、ロシアのウクライナ侵攻、新型コロナウイルスの影響、人手不足等、原料の値上げ、事業環境はますます悪化しています。

5月1日に組合員の1社が不渡りを出しました。長らく心配をしておりましたが、とうとう来るべきものが来たかという結果となりました。この仕事は、なぜ衰えたのか、なぜ盛んなのかを考えた方が良いです。組合に行けば情報が有り、教えてくれる人がいて、そういうことがよく分かります。私は全グラの2代目会長さんのときに組合へ行きました。

「安物買いの銭失い」は今も通用しています。原料をはじめあらゆるものの価格が高騰し、包材の

価格交渉は大変ですが、陥没価格の大幅な修正があちこちで行われています。購買側の厳しすぎる姿勢が陥没価格を生んでしまった事も事実です。きちんとした仕事をして、きちんとした値段を出すということではないかと思えます。

業界には約600社があり1,500台以上のグラビア印刷機がありますが、新規更新は年15~20台です。インキメーカーも1社減りました。身を削ってのご奉公は続かないことを我々はよく考えないといけません。

また、我々だけではなく、製袋、スリッターも廃業の危機にあります。軟衛協の西澤尚浩前会長の言葉「オールジャパン」で、何に取り組んでいくかという考え方に立っていないといけません。

関東グラビア協同組合も、東京加工紙の吉原宗彦社長に理事長をお譲りし、若返りを図っていきます。全国の各単組も同様になってきています。今は業を続けることが厳しい環境です。そのよう

な中でも、外国人技能実習制度は良い決断でした。都築晋平顧問に一生懸命良い制度を作っていたいただき、感謝しております。この制度がなければ人手不足があちこちで起きて仕事ができないことになります。青年部も interpack の視察など、頼もしい活動をしています。

このような状況ですが、元気を出してオールジャパンで包材の価値を認めてもらうという気持ちで進めていき、総会を無事終了して懇親会につなげていきたいと思えます。

### 令和4年度事業報告



議長に吉原宗彦理事が指名され、議事進行が行われた。

第1号議案「令和4年度事業報告書および決算関係書類承認の件」では、まず、令和4年度事業報告として、組合および組合員をめぐる経済・経営状況について安永研二副理事長が報告した。

引き続き、袖山高明専務理事より令和4年度決算関係書類に基づく報告があり、橋本章監事が監査報告を読み上げ、承認された。

### 令和5年度事業計画



第2号議案「令和5年度事業計画、収支予算並びに経費の賦課および徴収方法決定の件」では、竹下晋司副理事長が2023年度の事業方針とともに、次のよう

な事業活動の骨子および事業計画を提案した。

#### 〈事業骨子〉

(1) 省エネ、省資源とプラスチック資源循環によ

る地球環境保全への対応

(2) (一社)日本印刷産業連合会と連携を取り、行政関連経済支援策・下請適正取引・優越的地位の濫用等に迅速な対応と関連行政官庁の連携強化

(3) SDGsとカーボンニュートラル社会への貢献

- 「グラビア印刷（軟包装）グリーン基準」に基づく GP 制度の啓蒙と認定取得の奨励・周知活動

- 「規制と自主的取組のベストミックス」による VOC 排出削減へ向けての支援

- 地球温暖化防止のための CO<sub>2</sub>排出量削減への取組

- 省エネ法への対応の取組

- 環境関連条例等への対応策の検討と規制緩和の推進

- 海洋プラスチックごみ問題について関連メーカーとの連携による資源循環の情報収集

(4) 会員・賛助会員の増強

「グラビア印刷（軟包装）グリーン基準」に基づく GP 制度の啓蒙と認定取得への近道として組合加入促進を図る

(5) (一社)日本印刷産業連合会への積極的な参加と、関連業界団体との連携強化

(6) 青年部の育成と拡大

(7) 「GP JAPAN」の内容充実と広告獲得、拡販

(8) (一社)日本印刷産業連合会の連携とホームページ運用による広報の取組

(9) 外国人実習生制度認定団体として、技能実習評価試験の実施体制の更なる拡充

(10) 消防法、有機溶剤中毒予防規則、改正大気汚染防止法、改正食品用器具及び容器包装の法規制、働き方改革、民法改正等の周知と遵守

(11) 新型コロナウイルス感染症の予防対策の周知と行動の徹底

## 〈事業計画〉

### (1) 教育および情報提供に関する事業

- 省エネ・節電取り組みにおける経営支援および諸環境法規（法令）の対応支援活動
- 労働安全衛生と消防法の法令遵守の啓蒙と完全実施の推進、危険物乙種第4種および有機溶剤取扱い主任免許取得の奨励と啓蒙運動の展開
- 下請法および優越的地位の濫用の啓蒙と周知への支援活動
- SDGsとカーボンニュートラル社会への貢献  
グリーンプリンティング認定制度の普及  
グラビア印刷製品 GP マーク表示使用の促進  
VOC 排出削減の維持と促進  
地球温暖化防止のための CO<sub>2</sub> 排出量削減への取り組み
- 改正食品用器具および容器包装の法規制、働き方改革等の法改正の周知活動
- 事業継続対策の周知活動
- 各単組および青年部による見学会・講習会・セミナー・分科会発表等の開催
- 情報提供  
全国グラビア協同組合連合会の機関誌「GP JAPAN」の発行とホームページの充実により組合員・非組合員への情報を提供する

### (2) 福利厚生に関する事業

- 新年会、総会懇親会の開催等を行うことにより実施する

引き続き、袖山専務理事より令和5年度収支予算（案）について説明があり、無事承認された。



## 理事・監事の選挙

第3号議案「令和5年度における、借入金残高の最高限度額の決定の件」が承認され、第4号議案「理事および監事選挙の件」では推薦候補者について無事受諾・承認され、次のような理事・監事が決定した。

### 〈会長〉

田口 薫（関東グラビア協同組合、大日本パッケージ㈱）

### 〈副理事長〉

安永研二（関東グラビア協同組合、東包印刷㈱）

竹下晋司（関西グラビア協同組合、㈱ダイコー）

石井 純（関東プラスチック印刷協同組合、㈱多連堂）

杉山真一郎（東海グラビア印刷協同組合、富士特殊紙業㈱）

母里圭太郎（九州グラビア協同組合、㈱平野屋物産）

若狭博徳（北海道グラビア印刷協同組合、㈱北海サンコー）

### 〈専務理事〉

袖山高明

### 〈理事〉

山下雅稔（関東グラビア協同組合、㈱巧芸社）

吉原宗彦（関東グラビア協同組合、東京加工紙㈱）

川田雄治（関東グラビア協同組合、トーホー加工㈱）

東 勇一（関東プラスチック印刷協同組合、㈱トーショー）

市村清一（埼玉県グラビア協同組合、㈱タイトー）

佐伯陽子（埼玉県グラビア協同組合、㈱佐伯紙工所）

大野寿之（北海道グラビア印刷協同組合、極東高分子㈱）

浮田信也（東海グラビア印刷協同組合、大和産業㈱）



奥田拓己（関西グラビア協同組合、(株)北四国グラビア印刷(株)）

新酒健広（関西グラビア協同組合、(株)グラビアジャパン）

賀谷真尚（北陸グラビア協同組合、賀谷ゼロファン(株)）

織田憲三（北陸グラビア協同組合、アートパックス(株)）

中村政晃（九州グラビア協同組合、(株)三裕商会）  
〈監事〉

小室敏明（関東プラスチック印刷協同組合、(有)墨田ポリ印刷所）

橋本章（関東グラビア協同組合、橋本ゼロファン印刷(株)）

## 理事会、懇親会

引き続き、午後2時より同会場において、全国グラビア協同組合連合会理事会が開催され、今年度の事業計画、日印産連印刷功労賞・印刷振興賞推薦候補者、日印産連への派遣委員などについて袖山専務より説明が行われた。

午後3時半からは場所を「おり鶴 舞の間」に移し、賛助会員・関連業界、組合員各社から80名が一堂に会し、懇親会が開催された。



田口会長は次のような挨拶を行った。

「ご多忙中、北海道から九州から、お集まりいただきました。また、各賛助会員の皆様もお忙しい中を駆け

つけていただき、ありがとうございます。

今、我々の業界は非常に多難な時期に入っています。私が組合に入ったのはちょうど田中内閣で狂乱物価、トイレットペーパー、洗剤に行列ができた時でした。組合へ行き、いろいろなことを教えてもらいました。組合に入ること、自分達が

いかに安く売っているかということや実態が分かります。

前会長の川田善朗さんは、自分達の仕事を見直して、自分達の正当な価値を主張しなさいと言ってくれました。私達もその考え方を受け継いで、続けていかなければいけません。『どうする家康』という番組がありますが、『どうするグラビア』ではないでしょうか。

理事会ではいろいろな論議をしましたが、一番大事なのは王道を行くということです。霸道を行った人はダメです。霸道とは人のものを取ってすることで、絶対に上手くいきません。給料も韓国の方が高いのですから、上げないと外国人も来なくなります。しっかりがんばりましょう」

## 賛助会員代表挨拶



続いて、印刷インキ工業会の会長を務める、東洋インキ SC ホールディングス(株)の北川克己代表取締役会長が賛助会員を代表して次のような祝辞を述べた。

「皆様こんにちは。田口会長は『どうするグラビア』という話をされましたが、私は全くスピーチする予定もなかったのに、突然の無茶ぶりで昼過ぎから『どうする北川』状態になりましたので、この2～3週間で考えて話したことをまとめてみました。

5月に広島で開催されたG7サミットが無事に終了し、世界の分断化に歯止めが掛ければ良いと願っていますが、昨日までの段階では依然ウクライナ・ロシア戦争は続いており、残念ながら先行きは見通せません。

一方、新型コロナウイルスについては、5月の連休明けから5類感染症移行とともに本格的なウィズコロナ、アフターコロナ社会が到来しています。5

月に入ってからの街中の賑わいを見てもコロナ以前の活気が戻っていると感じていますが、残念ながら印刷インキの需給状況についてはオフセットインキ、グラビアインキともにコロナ前の水準には戻っていません。今年こそ社会全体が大いに盛り上がり、我々の業界も活性化していくことを期待しています。

そのような中で全グラさんは全国レベルで活動されていますが、印刷インキ工業会はこれまで東と西に分かれて活動していました。小さな業界なのに2つに分かれて活動することはないのではと会長として申しまして、4月に東西工業会の一本化を行いました。グラビア業界同様、インキ業界も一丸となって様々な社会課題を克服するために、速やかに対応していくことを念頭に以下の取り組みを図っていきます。

1つ目は、東西の総合工業を通じてインキ工業会の外部環境に関する情報交換を密にして新規の環境規制、各種法規への遵法化推進に向けて取り組みを見える化します。これは、食品関係衛生上のNL規制などに対しては迅速に我々も対応していきますので、皆様の理解を受けて進めていきます。

2つ目は、印刷インキ、周辺材料をエッセンシャルグッズと捉えて安定品質のさらなる向上、安定供給に向けた業界での取り組み、検討についても、来年からの改正安衛法対応、2024年物流問題等があるので、お客様に迷惑を掛けない形で、しっかり対応していくことを肝に銘じました。

3つ目は、グラビア、インキ共通テーマですが、政府指針に基づくカーボンニュートラルの段階的な達成。各社スコップ1~3におけるCO<sub>2</sub>発生抑制や、再生可能エネルギーへの切り替え促進等が間近にせまっていると思います。ブランドオーナーからもデータの提出を求められたり、提出しないところは切り捨てられるなど、かなり厳しいところもあると聞いています。これは官民一体で対応しなくてはなりません。

4つ目は、原材料高騰は若干落ち着いてきたとは

いえ、やはり昨年からの激しい上昇はまだ収まったとは言えません。正しい価格転嫁をしていくこと、価格転嫁をしてなくては生き残れないと、はっきり言って対応すること、認めてもらった部分は人件費のアップで経済の好循環に寄与していくと申しました。

その他、ダイバーシティへの積極的関与や業界水準の賃金底上げを取り組むことを共有課題にさせていただきました。

直近では、地方のグラビアコンバーターのお客様を回っていると、2つ問題があると聞いています。1つは若いオペレーターなどの人材不足。今は売り手市場ということもあり、高卒の方1人に応募が8社、あるいは高専卒の方1人に応募が32社入っているというくらい、採用が難しい。技能研修生についても、コロナの間の空白で、人脈のチェーンが崩れてしまい、再度来てもらうことが難しくなっていました。あるいは、賃金がすでに韓国等に負けていて、そういったところに流れしまうといった問題があります。

そして、我々も取り組んでいる廃プラ問題は、マテリアルリサイクルやケミカルリサイクルについては、いくつかの提案をさせていただきたいと思っていますので、グラビアコンバーターの皆さんとも協力して進めたいと思います」

## 乾杯



司会の袖山専務理事より、出席賛助会員・関連業界の皆さんの紹介の後、竹下晋司副理事長より、次のような乾杯の発声で、歓談に移った。

「今日は中締め挨拶を頼まれるかなと思い用意していましたが、まさか乾杯の挨拶に変わっていました。

理事会で、安永副理事長から藤井聡太さんの話が出ました。マスコミによると彼は常識を破ったと言われ

ていますが、安永さんの考え方では常識の中で固定観念を破ったのだという話をされおり、非常に安永さんらしい発想だなと思いました。

値上げをしたらどうなるのか、上手くいくのかという我々に染み付いている固定観念は、自分自身にも強くあるのかなと思います。ところが、当社の営業本部長は僕が苦勞した会社に行って簡単に値上げをします。彼らには固定観念がないのだろうと思います。高いものは高い、値段が上がったから、こちらも値上げに行く、そういう発想が今後の業界を支えていくのではないのでしょうか。そういうことを考えると、若い人たちに経営を任せていくことが必要ではないかと思います。

田口会長からオールジャパンで戦っていこうという話がありましたが、関東グラビア青年部の皆さん、そこに関西、東海も一緒になっていくことは大切だと思います。オールジャパンで苦難を乗り越えていけば、グラビア業界も先が明るいのではないかと思っています」

## 中締め



中締めには8単組の理事長が登壇、関東グラビア協同組合の吉原宗彦理事長の挨拶と三本締めで閉会した。「3年ぶりのノーマスク、立食形式での懇親会で、いろいろな方とお話ができて良いなと実感しました。9月にはラグビーのワールドカップがパリで開催されます。

前回の2019年に開催されたときのように日本代表が活躍すれば、日本全国が盛り上がっていくのではないかと思います。ラグビーには皆さんご存知の、ノースイドの精神、One for All, All for One、そしてもう1つ、『ラグビー憲章』というものがあり、5つのコアバリュー『品位』『規律』『情熱』『結束』『尊重』があります。これを持っていればラグビーは上手くなり、人間形成もされるという言葉です。前監督は、日本代表選手は品位を持って規律正しいプレーをしなさいと口をすっぱくして言っていましたので、覚えている方もいるかもしれません。我々、グラビア業界も『規律』と『品位』を持って仕事をし、組合活動においては『結束』『情熱』『尊重』を持って、『ワンチーム』で活動していけば業界も盛り上がっていくのではないかと考えています」



左より、九州グラビア協組の母里圭太郎理事長、関西グラビア協組の竹下晋司理事長、北陸グラビア協組の賀谷真尚理事長、東海グラビア印刷協組の杉山真一郎理事長、埼玉県グラビア協組の市村清一理事長、関東プラスチック印刷協組の石井 純理事長、関東グラビア協組の吉原宗彦理事長、北海道グラビア印刷協組の若狭博徳理事長

### 〈懇親会出席賛助会員・関連業界〉

サカタインクス(株)、大日精化工業(株)、DIC グラフィックス(株)、東京インキ(株)、東洋インキ SC ホールディングス(株)、東洋インキ(株)、太平洋電機産業(株)、(株)ヒューテック、(株)オリオン商事、新生紙パルプ商事(株)、三井化学東セロ(株)、東洋紡(株)、東京計器(株)、岡崎機械工業(株)、(株)東伸、総武機械(株)、(株)ユニオンテック、ダックエンジニアリング(株)、(株)コンゴ、日本ポールドウイン(株)、(株)SCREEN GP ジャパン、日本丸印プリンティング協、(株)日本包装リース

# 組合員・単組の近況

関東プラスチック印刷協同組合

## 第60回通常総会を開催

関東プラスチック印刷協同組合（石井 純理事長、㈱多漣堂）は、2023年5月26日（金）午後4時より、きぬ川ホテル三日月「さざんか」において第60回通常総会を開催しました。

総会は遠藤佳男理事（㈱マルタカ）の司会により、本人出席8名、委任状出席2名、計10名出席のもと進行しました。議長には東 勇一副理事長（㈱トーショー）が選出され、議事進行となりました。

第1号議案から第7号議案まで審議が行われました。

今年は役員改正があり、役員につきましては留任という形になり、引き続き尽力いただく運びとなりました。役員は以下の通りです。

- 〈理事長〉石井 純（㈱多漣堂）  
〈副理事長〉小室敏明（㈱墨田ポリ印刷所）  
東 勇一（㈱トーショー）  
〈専務理事〉山崎邦秀（㈱山崎プリント）  
〈理事〉神南一宣（㈱フタミ）  
久保田龍一（山葉印刷㈱）  
渡辺英和（㈱トリネックス）  
大月祐樹（㈱セイユウ）  
小金澤清隆（東和グラビヤ印刷㈱）  
遠藤佳男（㈱マルタカ）  
穴戸一隆（グラビア印刷八潮㈱）  
〈相談役理事〉大月正雄（㈱トーショー）  
小金澤和夫（東和グラビヤ印刷㈱）  
山崎専務理事により令和4年度事業報告及び決算関係書類確認の報告が行われ、続いて石井理事長から監査報告があり、その他各議案が担当理事から報告があり、決議、承認され終わりに小室副理事による閉会の辞により無事閉会となりました。

その後会場をさくら亭2階「牡丹」へ移動し、賛助会員様にもご出席いただき盛大に懇親会が行われました。

遠藤理事の司会のもと、石井理事長の挨拶に続き、賛助会員代表の東洋インキ㈱の吉野克宏部長様よりお言葉を頂戴いたしました。

乾杯の発声を大月理事が行い、当組合の今年度を盛り上げるべく乾杯の音頭で参加者の心を一つにしました。

数年ぶりの開催にいつもの関プラムードを懐かしく感じながら宴は盛り上がり、東副理事長の挨拶により閉会しました。

今年度はコロナ明け初の集まりだったせいか積もる話もあり、あっという間の時間で懇親会は幕を閉じました。

当組合も理事を含め変わらぬ体制で業界のため我々の事業の発展のため尽力するとともに、この活動を支えていただいている組合員、賛助会員様のご協力による証であると心より感謝いたします。

今後とも関東プラスチック印刷協同組合はこの荒波を乗り越えて邁進してまいります。



石井理事長



# 組合員・単組の近況

埼玉県グラビア協同組合

## 第54回通常総会を開催

2023年5月18日（木）午後4時より、ホテルメトロポリタン「ジュピター」において埼玉県グラビア協同組合（市村清一理事長、(株)ダイトー）第54回通常総会を開催しました。

司会者の青野事務局長が開会を宣し、佐伯鋼兵前理事長が挨拶をしました。総組合員4名全員の出席の下、議案審議に入りました。

以下の件を審議し、満場一致で承認されました。

### 第1号議案

令和4年度事業報告と決算承認の件

### 第2号議案

令和5年度事業計画書(案)と収支予算書(案)  
並びに経費の賦課及び徴収方法決定の件

### 第3号議案

令和5年度借入金残高の最高限度額決定の件

### 第4号議案

理事及び監事選挙の件

第4号議案「理事及び監事選挙の件」については、市村理事長・佐伯陽子副理事長の就任と佐伯前理事長の退任が承認されました。今後の組合活

動がさらに活発なものになることを期待し、通常総会を終了しました。

引き続き、賛助会員と共に懇親会を開催しました。久しぶりの宴ということもあり、和やかに時は過ぎました。



佐伯鋼兵前理事長の挨拶



総会の様子



左より市村清一理事長、佐伯陽子副理事長、佐伯鋼兵前理事長



懇親会の様子

# 組合員・単組の近況

東海グラビア印刷協同組合

## 第53期定期総会懇親会を開催

東海グラビア印刷協同組合（杉山真一郎理事長、富士特殊紙業(株)）は、令和5年第53期定期総会懇親会を2023年5月26日（金）午後4時より、名古屋観光ホテルにおいて開催しました。

### 定期総会



司会を務めた  
青年部の大野部長

午後4時より、司会の大野青年部長（ライブオール(株)）の進行により、総会出席社19社、委任状の提出による代理出席6社、オブザーバーの賛助会員参加のもと開催されました。杉山理事長の議長のもと、議題は

順調に進行し、参加者は活発な討論を行いました。

令和4年度事業経過報告（浮田信也副理事長、大和産業(株)）、会計報告（森 宗治社長、マルムネグラビア(株)）、会計監査報告（松山元繁社長、丸八製版(株)）、事業計画案（浮田副理事長）、予算案（森社長）が報告され、全ての議案に対し多数決で可決されました。総会の進行は円滑であり、参加者全員が熱心に協力しました。

### 勉強会

午後4時30分から開催された、池田康夫様（三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)）による「Z世代の育て方・鍛え方」についての勉強会は非常に興味深く、Z世代の特徴や考え方を学ぶことができ、参加者に有益な情報を提供しました。新たな教育手法やコミュニケーションのポイントについて学び、今後の指導に活かしたいと思います。

### 懇親会



懇親会で挨拶をする  
杉山理事長

午後6時、杉山理事長の挨拶で懇親会が幕を開けました。勉強会について理事長からも感想が述べられ、将来を担う若者たちとのコミュニケーションの重要性を再認識しました。斎藤部長（大日精化工業(株)）による乾杯の音頭が取られ、参加者同士の和やかな雰囲気の中で、交流が深まりました。最後は志水支社長（サカタインクス(株)）から挨拶があり、一本締めで締めくくりました。今回、会員が1社増え、懇親会も素晴らしい雰囲気の中で、一体感を感じられる有意義なひと時でした。



乾杯の発声を務めた  
大日精化工業(株)の斎藤部長



挨拶をする  
サカタインクス(株)の志水支社長





## Information

### DIC、廃棄軟包装フィルムを再資源化した原料が梱包用バンド・仮設資材に採用

DIC(株)は、廃材となった食品や日用品などの軟包装フィルムを対象に印刷インキ除去(以下、脱インキ)技術を用いて再生した材料が、大日製罐(株)の梱包用バンド、およびDICプラスチック(株)(以下、DPI社)の仮設資材に採用され、両製品とも6月上旬より販売開始した。

DICは、2021年5月より廃棄軟包装フィルムのマテリアルリサイクル拡大に向けて大手製パンメーカーと協業開始した。これは、ブランドオーナーや加工メーカーから回収した廃棄軟包装フィルムを対象に脱インキ技術を用いることで、再生ペレット(プラスチック樹脂)の混色を防ぎ、新たな用途へ再生させる取り組み。

従来の廃棄軟包装フィルムのマテリアルリサイクルでは、フィルムに印刷インキが残るため暗色系のペレットにししか再生できず、再資源化の用途が限定されていたが、この脱インキ技術は、再生ペレットの着色および異物混入による物性劣化の課題に対応できるため、暗色以外のカラフルな着色を可能にする。DICは脱インキ・剥離・原料化(造粒)の工程、DPI社と大日製罐は成形加工・再利用の工程においてそれぞれ独自の高い技術を生かしプロセスの最適化を実現したことから、今回の製品化に至った。

プラスチック成形品などの製造・販売をする

DPI社は、この再生原料が視認性を重視する仮設資材「カンバリ(看板・バリケード)」の原料として、従来の色相に近い色合いを再現できること、成形品の物性を確保できることから採用を決定した。同社は6月上旬より販売を開始し、今後も順次その他製品群への利用拡大を図る予定。

容器や資材などを製造・販売する大日製罐も同様の理由により、この再生原料を採用し、同社の環境対応型梱包用バンド「ECOフレンドリーPPバンド」を6月上旬より販売を開始した。



DPI社の仮設資材



大日製罐の梱包用バンド



脱インキ技術を用いて再生された着色可能なペレット

# 組合員・単組の近況

九州グラビア協同組合青年部

## 第7回通常総会を開催

九州グラビア協同組合青年部（母里圭太郎部長、(株)平野屋物産）は、2023年5月24日(水)午後5時より、八仙閣本店会議室において第7回通常総会を開催しました。



司会の川嶋春広事務局

川嶋春広事務局（(株)平野屋物産）による司会進行の下、事業報告・来期予算・監査報告と議事が進みました。母里圭太郎部長からは、交流を通して業界の問題・課題の意識を共有し、青年部の活動を全員の知見を広げていく一助としたい旨の挨拶があり、今期の活動案について意見を出し合い、研修会(10月)を具体化していくこととなりました。総会議事終了後、近藤大



近藤大輔監事による  
乾杯の発声

輔監事（(株)メイワパックス八代工場）の発声により乾杯し、懇談に移りました。新規参加（萩原工業(株)）挨拶を挟み、賑やかに様々な話題が飛び交い時間一杯となり、平井雄一郎理事（(株)平井印刷）の見事な博多一

本締めで、懇親会を終了しました。

また、同日朝より福岡国際カントリークラブにて親睦ゴルフコンペを行いました。プレー中に球の紛失が多々ありましたが、全員に配布された参加賞（球1ダース）が有難く、参加することの意義を感じることができました。



母里圭太郎部長



総会の様子



新規参加された萩原工業株による挨拶



懇談の様子



平井雄一郎理事による中締め

# 組合員・単組の近況

北陸グラビア協同組合

## 第62回通常総会報告

報告者：北陸グラビア協同組合 理事長 賀谷真尚

2023年5月26日（金）午後5時30分より、金沢駅西口にある新しいホテル「ハイアットセントリック金沢」において、組合員10社中、委任状1社、9社10名が出席の下、62回目の北陸グラビア協同組合の令和5年度通常総会を開催しました。

議案は下記の通りで、すべて承認されました。

1. 事業報告、会計報告、監査報告
2. 令和5年度事業計画及び収支予算案
3. 新入組合員承認の件（1社）
4. 賦課金改正案について
5. 全国グラビア理事会への派遣役員について
6. 令和5年度役員改選について

なお、役員改選では全員留任となった事を報告します。

午後6時40分に総会を終了し、7時より賛助会員6社8名が加わり、合計18名で懇親会に移り、活発な意見交換が出来ました。

振分12色・11色グラビア印刷機（印刷7号機・印刷8号機）、  
ドライラミネーター（DL5号機）に引き続き、  
最新鋭ノソルベントラミネーター（NS6号機）を増設稼働致しました。  
ノソルベント（無溶剤型）ラミネーターは、高い経済性と環境適性に優れており、  
溶剤臭の心配がないため、食品包装などに適しています。  
また、DIC株が開発した速硬化型無溶剤接着剤“DUALAM™”に対応し、  
難易度の高い構成への適用も視野に入れた仕様としています。  
更に多様なニーズに応えられる「日本一の協力会社」を目指してまいります。



ISO9001:2015 認証取得  
グリーンプリンティング認定工場  
軟包装衛生協議会認定工場 正会員

■グラビア印刷 ■ドライ・ノンソルベント



日本パッケージング株式会社



本社・工場 〒340-0121 埼玉県幸手市上吉羽2100-30  
TEL:0480-48-2620 <http://www.nippake.com/>



GREEN PRINTING JFPI

# GP 認定制度申請についてのお願い

## GP マークの製品表示が可能となりました



全国グラビア協同組合連合会

平成20年よりグリーンプリンティング認定制度の受付（グラビアは第7回より開始）が始まっています。この度、(株)丸本 福岡工場（福岡県飯塚市平恒477-21）が認定となり、これまでの認定工場は、**68事業所**となっております。**今年度の新たに目標は70認定工場としました。**

GP 認定の取得によって、VOC 排出削減、CO<sub>2</sub> の排出削減等の「環境保全」「省エネ・省資源」と「安全・安心」の確約をし、差別化が進む社会に対応し長期不況の厳しい中で勝ち残る最大の武器になると考えます。現在「日印産連」において GP の周知活動が行われ、社会的な認知向上が進んでおります。

毎月「日印産連」において説明会が開催されております。この機会を逃さず参加されることを望みます。なお、グリーンプリンティング認定制度に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8 日本印刷会館3階

日印産連グリーンプリンティング認定事務局

(TEL: 03-3553-6123 FAX: 03-3553-6145 E-mail: gp-nintei@jfpj.or.jp web: http://www.jfpj.or.jp/)

※なお、GP マークが軟包装グラビア印刷製品（袋等）に表示が出来るようになりました。

「グリーンプリンティング（GP）マーク製品表示の手引き」をご参照願います。

### 【GP 制度概要説明会開催について】

- 毎月原則2日開催
- 参加費無料
- GP 制度と申請方法を分かりやすく説明  
GP 認定制度の概要、GP 認定取得、GP マーク表示のメリット、GP 申請方法の概要等
- 当日、ガイドラインをお渡しします。
- GP 申請を希望する方で、まだガイドライン等を読んでいない方はこちらに参加の上、下記申請書作成説明会にご参加下さい。
- 各印刷部門共通です。
- 印刷業界内外問わず誰でも参加できます。
- 参加希望者は事務局にお申込み下さい。

8月2日（水） 15:00～16:30 Zoom 開催

### 【GP 申請書作成説明会開催について】

- 毎月原則20日開催
- 参加費無料
- 申請に必要な次の内容を具体的に説明  
GP 申請書の書き方  
添付書類作成方法  
現地審査の内容等
- チェックシート記入の上、ご参加下さい。もちろん、不完全でかまいません。
- 参加希望者は事務局にお申込み下さい。

### 【グラビア印刷部門】

7月20日（木） 10:00～12:00 Zoom 開催

8月22日（火） 13:00～15:00 Zoom 開催

# 目立ってしましますが、 実力もすごいのです

「薄く、軽く、柔らかい」が、私たちが皆さんにお届けしている袋の特徴で、「ソフトパッケージ（＝軟包装）」と呼ばれています。一見頼りなさそうな感じを思い浮かべられるかも知れませんが、実はとんでもない優れモノなのです。

## ●「入れる」

食品など中身を入れた後、瞬時に**密封**する機能を持っています。

→レジ袋との大きな違いです。

## ●「届ける」

食品工場から配送センターの倉庫、コンビニやスーパーなどの販売店へ運送する際に、あるいは皆さんがお持ち帰りの際に、中身がもれたり流れ出たりすることはありません。棚や冷蔵庫などの収納でも同じで、柔らかいため狭いスペースにも収まります。

## ●「保つ」

『湿気る』 → お煎餅が湿気てしまっては美味しくありませんね。

『腐る』『酸化する』『かびる』 → 食品がこれでは美味しくないところか、食べることもできません。

「ソフトパッケージ」はこれらを防止する機能を持っていますので、安全・安心にお使いいただけます。

また、中身の香りや、外の異臭・悪臭などもある程度遮断することもできます。何故、そんなことができるのかと言いますと、1ミリメートルの100分の1から数10分の1程度の極薄の様々な機能性プラスチックフィルムや金属箔、紙など他素材との複合化によって出来ているからです。一見、1枚のペラペラのフィルムに見えがちですが、実はそうではないのです。

そして、忘れてはいけないとても重要な役割があります。

## ●「伝える」

グラビアという印刷方式により、皆さんの「健康」「衛生」を支えるためにお伝えしなければならない情報を表現できるとともに、中身のPRや、カラー印刷を用いたキレイで可愛いデザインを施すことも可能です。

いかがですか。「賞味期限」を守りつつ、フードロスの削減にも役立ち、安心してお使いいただけるこの優れモノ、「ソフトパッケージ」の価値を改めてお考えいただけませんかでしょうか。

でも、いったん袋を開けてしまうと密封状態ではなくなりますので、チャック（またはジッパー）付きの袋をお使いの場合でも、また、輪ゴムなどで開封部を止めて頂いたとしても、本来の機能は既に損なわれていますので、出来る限り早めにお召し上がり下さいね。

軟包装価値向上委員会 配布資料1 2023年1月30日作成